

次に、一般社会において必要不可欠なビジネススマナーです。例えば面接においては、時間厳守で面接会場に到着出来るか、入室時のノックの有無、面接開始時の挨拶、面接終了時のお礼等のビジネススマナーも見られます。入社後、最低限のビジネススマナーを備えた

② **ビジネススマナーを心得ているか**
 ① **自身の障がいに対する理解と姿勢**
 ③ **必要な業務スキルの有無**

障がい者雇用で企業側がチェックするポイントは何ですか？



就労移行支援を受けるメリット

例えばスキルや障がいの種類など、同じ条件の人が居た場合、企業によっては「就労移行支援」を経て応募してきた人を、多少なりとも優先する可能性があります。なぜなら当事者のバックに確かな相談パートナーが存在するということが、双方にとって1つの安心材料になるからです。以上の側面から、就労移行支援を受けるメリットの1つと言えるでしょう。

③ **必要な業務スキルの有無**
 3つ目は、その企業に勤める上で必要なスキルを持っているかです。単純にスキルの高い低いという事ではなく、あくまで「企業が想定している業務」に必要なスキルや適性があるかどうかです。そういう意味では、自身のスキルを正しく理解し、スキルに合った求人を見極める事も重要なポイントとなつてきます。

① **自身の障がいに対する理解と姿勢**
 まず大切なのは、当事者が自らの障がい特性をきちんと理解できているかどうかです。仕事をやる上で、何がストレス要因となりどういう症状が生じる可能性があるのか、そのリスクを自身でどのように工夫してどこまで回避できるのか、それでも回避できない場合は企業からどういう配慮が必要か、これらの事を自身の言葉で発信、説明できるかが重要となります。



企業目線で考える障がい者雇用

一般企業への就職を目指しているものの、障がいを持っているため不安に感じている人が、世の中には多く存在します。そんな悩みを減らすべく、今回は障がい者雇用支援のプロに、採用に際して企業側が注目するポイントについて聞きました。

この人に聞きました！

パーソルチャレンジ株式会社
ミラトレ事業部 エリアマネジャー
山田 啓司 さん



2008年入社以降、一人ひとりの課題や能力に配慮しながら、支援側、企業側両方の立場に沿って数多くの障がい者雇用をサポート。現在も6拠点を統括するエリアマネジャーとして就労移行支援に携わっている。

就労継続支援A型・B型の違い

	就労移行支援	就労継続支援A型	就労継続支援B型
目的	就職のために必要なスキルを身に付ける	生産活動の場の確保と一般就労に向けた訓練など	生産活動の場の確保と一般就労に向けた訓練など
対象者	一般企業への就職を希望する人	現時点で一般企業への就職は困難であるが、適切な支援により雇用契約に基づく就労が可能となる人	現時点で一般企業への就職は困難であるが、知識や能力の向上・維持が期待される人
雇用契約	なし	あり	なし
年齢制限	なし	65歳未満	なし
利用期間	原則2年間以内	なし	なし

※厚生労働省障がいの就労移行支援策の状況より抜粋(表)
 ※詳しくは各自治体・事業所等にお問い合わせください。

「就労移行支援」とは？

一般企業への就職を希望している、障がいのある65歳未満の人を対象とした福祉サービス。事業所によって様々だが主な内容として、就職に対する知識やスキルアップのための訓練・講義などを受け、それぞれが持つ可能性を広げていくことを目指す。その後、実際に色々な職種や職場を体験してもらい、周囲のサポートも受けられる中で就活へと進んでいく流れとなる。また「就労継続支援A型・B型」という、目的や対象、雇用契約などの違いがあるサービスも存在し、手厚く各サービスを受けられるよう、事業所数も年々増加傾向にある。



個々のペースに合わせたプランを明確に。就労後は定着支援もしっかり行ってくれるのも心強い。



就業訓練の一環で通所者がスマホアプリを開発。技術を持ったメンバーをリーダーに、3ヵ月半かけて完成したそう。現在カゲモン第2段階制作中!見学もOK!

**学生支援～65歳まで
ITの特色を活かした
独自の支援体制で
責任のあるサポート**

ミント大阪は発達・精神障がいの、主に学卒の方に向けた福祉事業型専攻科事業所。自立訓練2年、就労移行支援2年の最大4年をかけて自立を図ることができる。いきなり就職はハードルが高いという方へ、まずは生活支援で基盤を作り個々のペースに合わせたサポートを。アップル梅田は、ITに特化した就労移行支援。プログラミング(Java・C#ウェブ)スキルを身につけ、運営のシステム開発会社でのリアルな企業実習も可能。新型コロナウイルスへの対応として臨時的に在宅での支援サービスもスタート。まずはお問合せを。

Interview

1つの柱としてグレーゾーンと言われる学生さんの支援を行っています。アップル梅田では毎週火曜・水曜(15時半～17時半)「1up stage」というコミュニティを開催。就職活動に臨む前に必要な自己理解・履歴書の書き方から、あらゆるお悩み相談まで対応しております。通所するしないに関わらず、1度気軽な気持ちでお立ち寄りください。



福祉事業型専攻科
ミント大阪 施設長
石井 日登美 さん

セミナー・体験会開催

- 就労系福祉サービスとは？
- ジョブスキルトレーニング体験
- 就活準備講座

【開催日時】
 7月 9日(木) 15時半～17時
 8月 6日(木) 15時半～17時
 9月10日(木) 15時半～17時
 (定員各日10名・要予約・ご家族の方も参加可能)
 【開催場所】
 ミント大阪
 【ご予約・お問い合わせは】
 06-6335-9200(ミント大阪)まで

**福祉事業型専攻科
ミント大阪**

大阪市北区天神橋3-8-9
 新末広ビル6F
 開所時間/10時～17時
 ☎06-6335-9200
<https://mint-osaka.jp/>



**就労移行支援
アップル梅田**

大阪市北区神山町6-4
 アクシス梅田ビル5F
 開所時間/10時～17時
 ☎06-6948-6252
<https://apple-osaka.com>



通所者が就職に向けた基礎的な能力を身につけられるよう、作業や訓練といった活動の場を提供し、サポートする。



「より地域の方に利用していただきやすくなりました」とスタッフの久保田さん。「見学、体験実習も行ってますのでご連絡ください」

ワークセンター千里

(旧 大阪市立 千里作業指導所)
 吹田市古江台6-2-5
 Pあり
 ☎06-6831-2862
 Email:sss@ceres.ocn.ne.jp
<http://fukspo.org/senri/>



**大阪市から民間へ
より地域に根差した
サポートで就労の実現を**

昭和52年から一貫して障がい者の就労支援を行い、42年の間に350人以上の利用者を一般企業へと送り出してきた同施設。4月に大阪市管轄から民間運営へ移行し、施設名を千里作業指導所から「ワークセンター千里」に変更。「ステップアップシステム」で体系化し、就労移行支援・就労継続支援B型を運営。施設内外のプログラムを取り入れ利用者のペースに合わせ、段階的に一般企業への就労に近づこう支援を行っている。

就労に向け段階的支援

「ステップアップシステム」は、施設内だけでなく、提携する企業などでの作業体験(実習)を通じて、会社で働くための様々な技能(作業性・対人関係・労働習慣等)を高めていく。



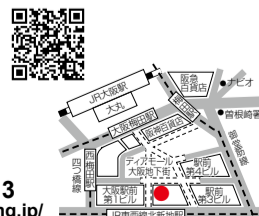
(上)企業目線で一人ひとりに、その人に最適なカリキュラムを提案。(下左)事業所外での実習や、外部講師による多様なセミナーも多数。ミラトレを卒業してからの定着支援もしっかりしているので安心だ。

**関東で10事業所運営
パーソルグループが
展開する
ミラトレ大阪・尼崎**

総合人材サービス、パーソルグループが展開する就労移行支援事業所が1月梅田、3月に尼崎に開設。同事業所を運営するパーソルチャレンジは300名以上の障がいのある社員が在籍、グループ内の業務を受託している。その「経験」を支援の土台とし、より深いサポートが可能に。関東で10事業所を運営してきたノウハウで、独自の支援プログラムを開発。見学・体験も随時開催中なので、まずはお問合せを。

ミラトレ梅田

大阪市北区梅田1-2-2
 大阪駅前第2ビル 11階
 開所時間/月～金
 9時～17時
 ☎06-6131-9693
<https://mirai-training.jp/>



ミラトレ尼崎

尼崎市昭和通2-7-1 7F
 開所時間/月～金
 9時～17時
 ☎06-6423-9417



就労移行支援・就労継続支援A型事業所

フィール

吹田市豊津町14-10
 丸萬ビル6F
 営/9時～18時(平日)
 江坂駅8番出口徒歩2分
 ☎06-6170-6485



南森町事業所

大阪市北区東天満1-10-12
 エル・エスト不動産天満ビル4F
 ☎06-6232-8290
<http://www.nk-feel.co.jp/>

